

# 私立大学戦略的 研究基盤形成支援事業

## 「オルガネラの接触場の形成機構と破綻による疾患」

14:00-15:00 若手研究者（大学院生）による発表 司会：新崎恒平

1. 池田直輝 免疫制御学 (D1)  
自然免疫による炎症性腸疾患の制御
2. 木村葉那 分子細胞生物学 (D1)  
脂肪滴形成における MAM の役割～syntaxin17 の機能を中心として～
3. 工藤光野 ゲノム病態医科学 (D1)  
BRAF 変異メラノーマ細胞に対する Vemurafenib 処理がエクソソームへの CD63 の  
ソーティングに与える影響
4. 武田啓佑 分子生化学 (D1)  
MITOL suppresses ER stress-induced apoptosis via IRE1  $\alpha$  at ER-Mitochondria contact sites
5. 丸山智広 細胞情報医科学 (D1)  
細胞内型ホスホリパーゼ A1 ノックアウトマウスの痙性対麻痺症状の解析

15:00-17:00 班員による発表

### セッションⅠ 司会：柳茂

1. 吉松康裕 腫瘍医科学  
腫瘍微小環境における細胞構造の変化
2. 橋本吉民 細胞制御医科学  
*In vitro* 再構成系を用いた MAM の構造・機能解析の試み
3. 田中正人 免疫制御学  
CD169 マクロファージによる炎症制御機構

### セッションⅡ 司会：多賀谷光男

4. 谷佳津子 細胞情報医科学  
小胞体ドメイン形成への Sec16B の関与
5. 深見希代子 ゲノム病態医科学  
細胞内情報伝達異常がもたらす疾患解明
6. 柳茂 分子生化学  
ミトコンドリアユビキチンリガーゼによる MAM の制御と関連疾患



会場

教育 4 号館 4301 講義室

問い合わせ先：東京薬科大学 生命科学部 分子生化学研究室

